気になるモニュメント

思わず「これは何？」と言いたくなるものに出会うことがあります。それは、昔々の人びとの暮らしの痕跡だったり、信仰の形だったり、遊び心を加えた芸術だったりします。どのような想いが込められているのかを考えることもフィールドを訪れる楽しみの一つです。

サハラ砂漠の岩絵

ニジェールのジャド高原にある岩絵。
たくさんの動物たちが描かれているのは、
むかし水と緑が豊かだったから。
ところで、この人間は、宇宙人？ それとも戦士？

ニジェール・サハラ砂漠
1998年12月
田中樹

躍動感のあるカカシ

カカシ（案山子）は世界各地でみられる。
バリ島の棚田にあったこのカカシは、
微風でもゆらゆらとよく動く。

インドネシア・バリ島

2013年8月

田中樹

ゴリラ、だよね？

私たちがよく知っている野生動物を
アフリカの人びとが見る機会はとても少ない。
ユーモラスな表情のゴリラ。
きっと、製作者は写真か映画を参考にしたのだろう。

タンザニア・ザンジバル

2013年8月

田中樹

記念写真

ミーソンの遺跡は、7世紀から13世紀にかけて
チャンパ王国の時代に築かれた建造物の遺構。
国内や海外からの訪問者が、思い思いに見学したり、
いにしえの暮らしに想いを馳せる。

ベトナム・ミーソン遺跡

2013年3月

田中樹

小さな儀礼のあと

ザンジバルの人びとのほとんどはイスラム教徒だけれど、
在来の信仰も息づいている。
これは何の儀礼だったのかな。
気を付けていないと見逃してしまいそうだ。

タンザニア・ザンジバル

2014年7月

田中樹

山岳少数民族

ベトナムの山間地に住む人びとは
ゴング（銅鑼）で音楽を奏でる。
それには精霊が宿るともいわれ、
とても大切な地域文化の一つとなっている。

ベトナム・クアンナム省

2012年2月

田中樹

森の精霊？

ケーララ州の山間部には、
森林の下でカルダモンが栽培されている。
その森を歩いていたらふわりを目に飛び込んできたのが
白っぽい服で作ったカカシ。
精霊かと思った。

インド・ケーララ州

2015年4月

田中樹

神話の中の神様かな

バリ島の池で出会った石像。
苔をかぶって迫力ある風貌をしている。
何の神様かな？

インドネシア・バリ島

2013年8月

田中樹

船に顔があってもいいじゃないか

ベトナムの沿岸やメコンデルタでは、
へさき（舳先）に目を描いた舟をよく見かける。
水難を防ぐためのおまじないかな。

ベトナム・メコンデルタ

2014年2月

田中樹

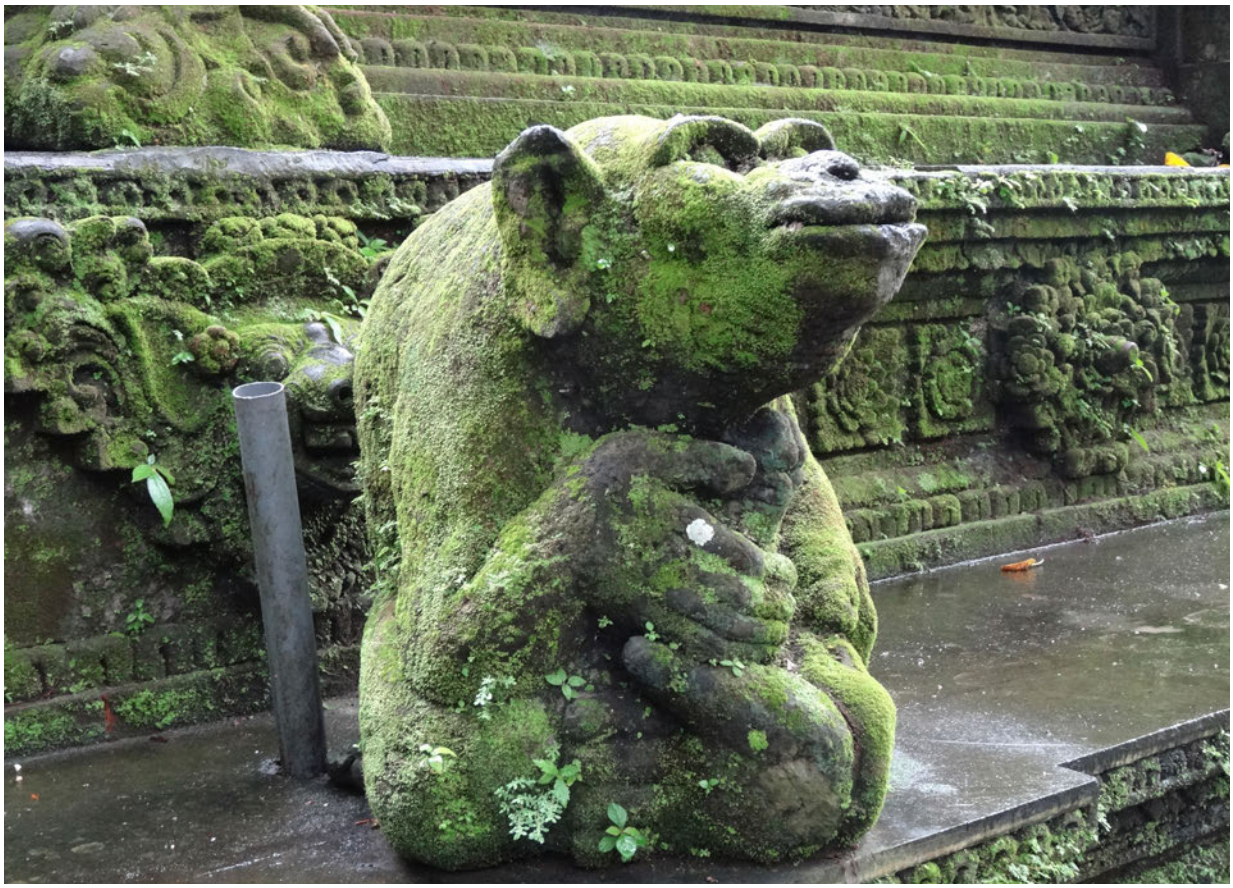
村の神様だよ

鉄くずや石像、鉄像などが並べられている。
村びとに訊ねると神様として祀っているんだって。
廃棄物置き場ではなかったんだ。

インド・ケーララ州

2016年3月

田中樹



苔むすサル

雨の多いバリ島では、
石造りの寺院や石像が苔に覆われている。
これはサルの神様かな。

インドネシア・バリ島

2013年8月

田中樹

謎の巨人現る

ひょうたんの器をかかげて地面からのびる大きな手。
思わず「何じゃ、これ」と叫びたくなる。

ブルキナファソ・バム県

2011年1月

田中樹

僕も働いてるよ、カカシだけど

畑を見守るカカシ。
よくできているので、
思わず「こんにちは」と挨拶してしまった。

カンボジア・シェムリアップ市近郊

2012年3月

田中樹

一休さんのとんち

ジボの街中にて。
なぜか牛の絵がたくさん描かれています。
（一休さんの「屏風の虎」の頓智話より）

ブルキナファソ・ロルム県
2010年2月
清水貴夫